

平成22年11月12日（金）

平成22年度大学図書館職員短期研修（東京会場）

「海外研修経験から見た大学図書館（1）」

ドイツ・スタディツアー

研修で学ぶ、研修を活かす

九州大学情報システム部
情報基盤課情報基盤グループ
デジタルライブラリ担当
星子 奈美

本日のねらい

- ドイツの図書館事情を大づかみに把握する
- 「もし自分が海外研修へ行ったら...」とイメージしてみる

本日の内容

1. ドイツ・スタディツアー概要

2. 研修で学ぶ

- ドイツの学術情報流通を知るキーワード

3. 研修を活かす

- 帰国後の実践

さいごに

- これから海外研修へ行く人に

1. ドイツ・スタディツアー 概要

ドイツ・スタディツアーとは

- ゲーテ・インスティテュート主催
- 国立大学や研究所からツアー参加者を公募
- 履歴書や志望理由を提出、選考

参加機関

- 大学図書館

- 北海道
- 東北
- 筑波
- 一橋
- 京都
- 九州

- 研究機関

- 国立情報学研究所
- 科学技術振興機構
- 宇宙航空研究開発機構
- 物質・材料研究機構
- 放射線医学総合研究所

スケジュール

2009年11月22日-29日

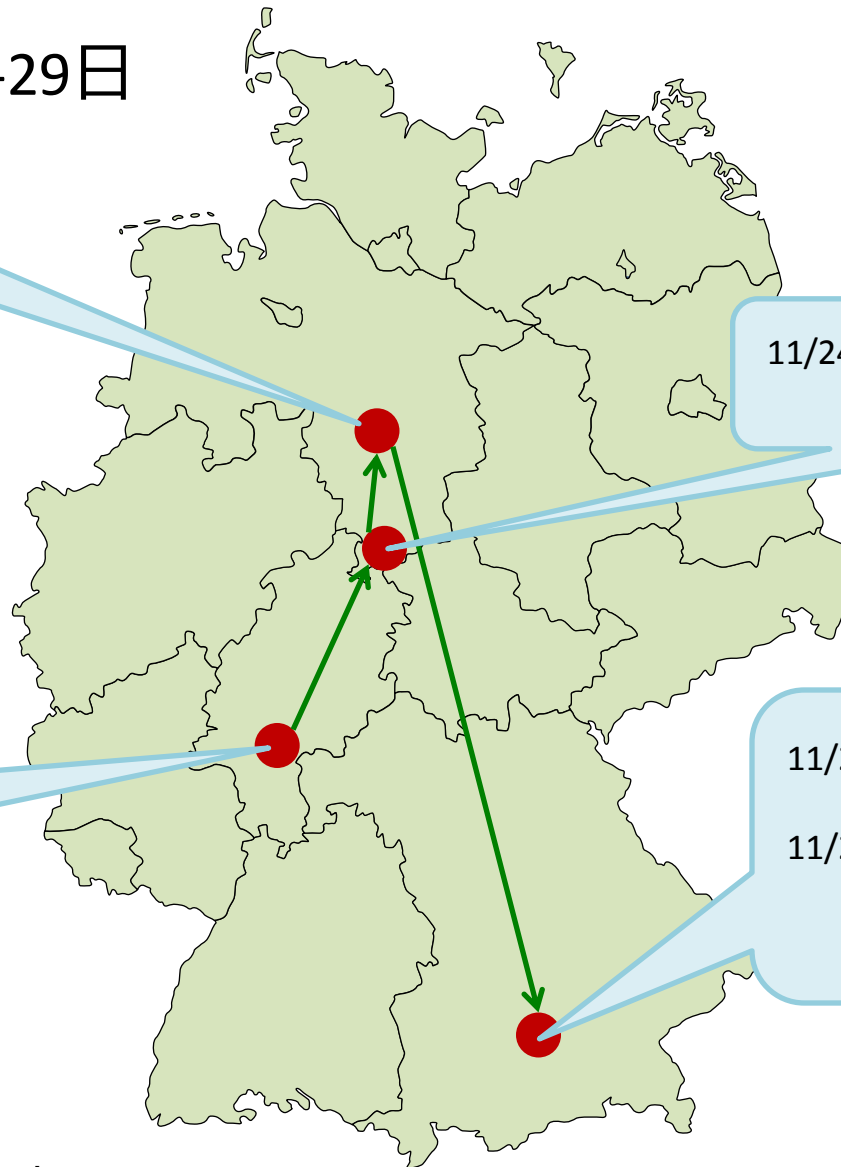
11/25 技術情報図書館
(ハノーバー)

11/24 ゲッチンゲン大学図書館
(ゲッチンゲン)

11/23 ドイツ国立図書館
(フランクフルト)

11/26 バイエルン州立図書館

11/27 マックス・プランク
デジタル図書館
(ミュンヘン)



2. 研修で学ぶ

ドイツの学術情報流通を知るキーワード

ドイツの学術情報流通を知る キーワード

1. **分散と連携**
2. **プロジェクト志向**
3. **ドイツ研究協会(DFG)**

ドイツの学術情報流通を知る キーワード

1. 分散と連携

- 国立図書館の役割分担
- 刊行物収集コンソーシアム
- 電子ジャーナル図書館（EZB）

酒井由紀子 / クリステル・マーンケ

『ドイツにおける学術情報流通：分散とネットワーク』

（日本図書館協会、2008）

ドイツの学術情報流通を知る キーワード

2. プロジェクト志向

- 期間限定
- 政府や財団の資金援助
- プロジェクト専任スタッフ

ドイツの学術情報流通を知る キーワード

3. ドイツ研究協会(DFG)

Deutsche Forschungsgemeinschaft

ドイツ学術振興会、ドイツ研究振興協会 と呼ぶことも

- 大学、研究機関、学術関連の協会等で構成された自治組織
- 研究プロジェクトなどに対し助成
- 近年は学術情報基盤整備を重視

ドイツの学術情報流通を知る キーワード

詳しくはこちらをご覧ください

ドイツの図書館を巡るスタディーツアー - Goethe-Institut

<http://www.goethe.de/ins/jp/lp/wis/sbd/jaindex.htm>

3. 研修を活かす

帰国後の実践

帰国後の実践

1. ドイツのプロジェクトをヒントに発案→CSI事業に採択
2. ツアー参加者同士の連携・交流
3. ドイツとの継続的交流→今後の課題

さいごに

これから海外研修へ行く人に

これから海外研修へ行く人に

1. 非日常的経験は、自らの Standpoint を見直す契機
2. 予習—本番—復習
3. Imagine!

Vielen Dank! 